

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ケアプラン等により、実施されているサービスについては理念に基づいた内容となっているが、職員の理念に対する意識づけが薄らいでいて、入居者に何らかの課題が生じた時に理念が指針となり得ていない現状がある。	入居者に何らかの課題が生じた時に、全職員が理念を踏まえ、またそれに基づいたアプローチをして、課題解決の方法を検討することができる。	①意識への浸透を図るため、ミーティング開始時に理念を唱和する時間を設ける。 ②内部研修により、理念の意味とその必要性を話し合う機会を定期的に作る。	12ヶ月
2	40	食事を楽しむ支援として、入居者が取り組むべき、食事の調理や準備、片付け等の作業内容、及びその機会が限定されていて、入居者一人一人の力が日常的に発揮されていない現状にある。	食事の調理や準備、片付け等において、取り組み可能な入居者が、交代制であっても日常的にそれらの作業に取り組むことができる。	①各入居者の食事の調理や準備、片付けに関する能力について再アセスメントをする。 ②再アセスメントの後、毎食時に必ず入居者に対し何らかの作業への取り組みを誘導し、その取り組み機会を確保する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。